

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員32名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「鳥取の星空(4K リマスタリング版)を投影中です。プラネタリウム室の換気設備が増強され、定員がこれまでの24名から32名になっています。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

テーマ番組・オリジナル番組「鳥取の星空」3月14日まで投影

オリジナル番組「鳥取の星空(2017年制作番組を4K化)を投影しています。「星取県」の美しい星空、きれいな星空が見られるわけなど、プラネタリウム番組でご紹介します。

2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員32名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を32名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。4階観測室の換気設備が増強され、定員がこれまでの24名から32名になっています。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



2月の注目天体情報

☆見ごろの星座

見ごろの星座は「ふたご座」です。明るい2つの星が目印ですが、2つの星の明るさを比べると、微妙に違ってきます。左下の明るい方が「ポルックス」、右上の少し暗い方が「カストル」です。双子の兄弟の名前が星につけられていますが、神話ではカストルの方がお兄ちゃんです。ふたご座を見つけたら、明るさの違いにも注目してみましょう。



☆オリオン座の天体が見ごろ

冬はやっぱりこの星座。そう、「オリオン座」です。月明かりがないころは「オリオン大星雲」、月明かりがあるころは「ベテルギウス」「リゲル」といった明るい星がおすすりです。見どころいっぱいオリオン座巡りをしましょう。



☆「月面X(エックス)」を見るチャンス

2月19日(金)18時20分ごろを中心に、「月面X(エックス)」が見られます。条件がそろえば、上弦(半月)前の月の欠け際に「X」の文字が浮かび上がるこの現象、観察会は19時からですので、観察会スタート直後に見てみます。

☆テレビ観望システム

「3密」軽減と天体観察会の魅力アップのために導入した「テレビ観望システム」。3密が予想される毎週土曜日の観察会は、103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。